



『笹森くんのスカート』

神戸 遥真 作

（講談社）

ジェンダーフリー制服が導入された高校で、夏休み明け、笹森くんがいきなりスカートで登校をはじめました。「性的マイノリティ」なのか、他に「理由」があるのか、憶測が飛び交う中で、一方的に配慮しようとする人も現れます。笹森くんの真意とは……。

この物語は、章ごとに主人公が変わります。視点が変わること、笹森くんの行動に対する周りの反応、受け止め方の違いが見えてきます。それぞれが自分の価値観やコンプレックスに向き合い、前向きに一步踏み出そうとする姿が描かれています。

ニーコウ  
（日本の小説）

2022年6月



『生き抜くためのごはんの作り方 悩みに効く16人のレシピ』

河出書房新社 編

（河出書房新社）

テレビやSNSで人気の料理研究家にも、子供の頃に悩みや不安がありました。その時の思い出の味や同じような悩みを抱えている若者に向けたエッセイと共に、気軽に作ってみたいくなるレシピがのっています。

「食べることは生きること」という言葉があります。「風邪をひいているときのためのレシピ」や「不安なときのためのレシピ」「ストレスが溜まっているときのためのレシピ」など、悩みに合わせて料理に挑戦してみたいかたがでしょうか？

596-22  
（料理）

2022年2月

《中学生・高校生》



1年の間に図書館に入った本を中心に、幅広く  
おもしろい本を紹介します。

★ホームページにもっています。  
気になる本をみつけたら、  
さっそく探してみよう！



茨木市立図書館  
おすすめ本のページ

★「読みたいな」と思った本の予約・問い合わせは、下の図書館までお願いします。

|                |  |                     |
|----------------|--|---------------------|
| 中央図書館          | ☎072-627-4129  | 畑田町1番51号            |
| おにクル<br>ぶっくぱーく | ☎072-622-2476<br>※2023年11月26日にオープンします。（貸出は11月27日からです。） | 駅前三丁目9番45号          |
| 水尾図書館          | ☎072-637-4416  | 水尾三丁目3番18号          |
| 庄栄図書館          | ☎072-620-1171  | 庄二丁目26番12号          |
| 穂積図書館          | ☎072-620-1056  | 松ヶ本町8番30号 イオンモール茨木内 |

編集・発行：茨木市立図書館

発行日：令和5年（2023年）10月



『あの子とQ』

まきめ  
万城目 学 作

（新潮社）

吸血鬼一家の娘である女子高生の弓子は、「脱・吸血鬼化」の儀式を受けることになりました。儀式を受けるためには、本当に人の血を吸わないことを証明しなくてはならず、そのために監視に来たのは、「Q」と名乗るトゲトゲに全体を覆われた得体の知れぬ物体でした。大事件が起こり、弓子を救ったことで窮地に立たされたQを救うため、弓子は友人のヨッチャンと、吸血鬼の総本山クボーに乗り込んでいくことになります。

F-マキ  
（日本の小説）

2022年8月

笑いあり、涙あり、胸キュンありの青春冒険小説です。



ニーゴフ  
(日本の小説)

2022年7月

### 『天才!? 木村のヤバすぎる発明』

桐谷 直 作 (PHP研究所)

中学2年生の田崎は、転校早々、自称・天才発明家の木村から、科学部に勧誘されます。怪しく思いつつも、スクールカーストを瞬時にひっくり返せるという「下剋上ゼリー」を使ってみると、効果は本物のようです。そこから、木村の発明品に振り回される日々が始まります。強面なのに気弱な後輩や、秘密のあるマドンナなど、個性豊かな登場人物も出てきます。木村にもどうやら秘密があるようです。

5分間ノンストップショートストーリーシリーズの1冊で、「DO! PIN! グミ」「消姿スプレー」など、ヤバすぎる発明品にまつわる短編12話で織りなす、ドタバタ青春コメディです。



783-22  
(障害者スポーツ)

2022年6月

### 『車いすでも、車いすじゃなくても、僕は最高にかっこいい。』

古澤 拓也 作 (小学館)

先天性疾患を持ちながらも根っからの野球少年で、12歳の頃は「車いすになったら、カッコ悪い」としか思っていなかったという著者が、大人になって車いすバスケットボールの選手になります。

この本では、選手として活躍し始めた著者がパラリンピックに出場し、銀メダリストになるまでの挫折や挑戦、家族や様々な人たちとの出会いなどが綴られています。大学の友人たちやヘッドコーチへのインタビューも書かれており、他者から見た著者についても知ることができる1冊です。



ニーヤツ  
(日本の小説)

2022年10月

### 『ぼくたちはまだ出逢っていない』

八束 澄子 作 (ポプラ社)

イギリス人の父親と日本人の母親を持ち、自分の弱さに向き合えない中学3年生の陸と、母親の再婚をきっかけに岡山から京都に引っ越してきて家族の中で居場所が見つけれない中学2年生の美雨。二人の視点で交互に入れ替わりながら、物語は進みます。

美雨は骨董店でのある茶碗との出逢いから、割れたり欠けたりした器を漆でつなぎ、金などで装飾した「金継ぎ」に夢中になります。

夢中になれる「何か」に、あなたはもう出逢っていますか？



Fークジ  
(日本の小説)

2022年7月

### 『きらめきを落としても』

鯨井 あめ 作 (講談社)

嫌いなブラックコーヒーを通して自分が本当に好きなものを探す「ブラックコーヒーを好きになるまで」、コンビニで一目惚れした女の子をめぐる「ボーイ・ミーツ・ガール・アゲイン」などを含む、全6話の短編集です。

『きらめきを落としても』の書名の通り、きらきら輝く想い、挫折や後悔の切なさが同時におしよせ、読み終わるときには少し前向きになれる小説です。



K457  
(恐竜類)

2022年11月

### 『作ろう! フライドチキンの骨格標本 よくわかる恐竜と鳥の骨学入門』

志賀 健司 作 (緑書房)  
江田 真毅 監修 小林 快次 監修

ジュシーでおいしいフライドチキン。その材料である鳥は「恐竜の子孫である」といわれています。なぜなら、恐竜と鳥の骨格に多くの共通点があるからです。

解説編では、さまざまな生物や恐竜の骨がどのように進化して今の形になったのかという骨の歴史をたどった後、「現生恐竜」のニワトリの骨の特徴をみていきます。工作編では、「除肉」「漂白」「脱脂」などが紹介され、今まで気付かなかった骨の仕組みや恐竜との共通点が見えてくるかもしれません。



002-23  
(学術)

2023年1月

### 『世界のヘンな研究 世界のトンデモ学問19選』

五十嵐 杏南 作 (中央公論新社)

美味しいパンを作る研究者は、あえてたくさんのもずいパンを作って食べます。そうして美味しいパンとの違いを学ぶと、食べるだけで何が足りないかがわかるようになります。

忍者やアニメ、サーフィン、富士山、温泉などにも研究センターや学会があって、各地で研究されています。どの研究も、この本を読まなかったら知らなかったであろう知識にあふれています。

世界には、想像もつかないヘンな研究がたくさんあります。そんなトンデモ学問の魅力に触れてみませんか？